

<住民参加型子育てサポート体制>

H26政策提案(根室振興局)

現状と課題

<現状>

- 合計特殊出生率は、管内全市町が全道平均を上回っている。別海町は全道2位(1.86)
- 高位の要因は…
 - ① 助産師等による子育て支援の充実
 - ② 低廉な保育料による経済的負担の軽減
 - ③ 多世代同居による家庭内の育児支援



<課題>

- 限られた予算・社会資源の中で、妊娠・出産・子育てを地域ぐるみでサポートする住民参加型の体制整備が必要
- ① 地域住民の参加による取組の検討
- ② 潜在的な社会資源(場所等)の柔軟な活用
- ③ 地域の高齢者の生きがいづくり(子育てへの参加)の手法としても検討



市町村・民間団体等の取組

- 市町村～子ども・子育て支援事業計画に基づく取組の推進
- 民間団体等～地域子ども子育て支援事業等の実施、インフォーマルサービスの提供

連携



振興局(「支援チーム」)の取組

- 住民意識の啓発
- 事業内容等の説明、モデル地域の選定
- 「支援チーム」による集中的な支援
 - ・ 振興局内に組織横断的な「支援チーム」を設置し、課題解決に必要な助言・支援等を実施

「支援チーム」構成員～地域政策、社会福祉、保健所、環境生活、農務、林務、水産 等

- 市町村・民間団体等の関係機関の調整
- 事業立ち上げ時期に集中的に関わり、地域・集落内の住民参加による子育てサポート体制づくりを支援

→ 事業成果の他地域への普及

「地域」の変化
「地域力」の強化

将来の地域のすがた

● 事業実施効果(結果)

地域の高齢者や先輩ママ等が主体的(自主的)に参加する子育て支援体制の構築

● 子育て世帯への効果

- ① 育児負担の軽減
- ② 子どもが地域への愛着を持ち、豊かな人間性を育む



● 地域への効果

- ① 地域のつながりの強化
※「向こう三軒両隣」の感覚
- ② 地域生活の安心感の獲得
- ③ 参加する高齢者自身の生きがいづくり
- ④ 「わがまちの将来」を考えるきっかけづくり

